

十和田市立 新渡戸記念館だより

新渡戸稲造の

言葉

愈々今年も終らんとする。過ぎし十二ヶ月間に何を成就したかと独り静かに顧れば、昨年と同じ様に矢張り後悔すべき事のみ。

徒に過ぎし月日のしのばれて

殊更をしき年の暮かな

然れども悔ゆるは改むるの端緒。来年の今日はまさか同じ後悔を繰り返へすことはあるまじ。新年を迎ふるに新なる勇氣と決心を以てすべし。愈々旧を捨て新に就かん。

新渡戸稲造著「一日一言」(大正4年/一九一五年出版)より、十二月三十一日の言葉。



新渡戸蔵書『心学教訓図絵』(天保14年/一八四三年)より

油断をいましむ

元日や うしろに 近き 大晦日



『心学教訓図絵』より

うかうかといふて

うかうか 年の暮

元朝参り in 太素塚 2000年のはじまりを 先人たちとともに!

新渡戸傳、十次郎が三本木原を開拓した19世紀。新渡戸稲造が世界平和のフロンティアを目指した20世紀。そして今われわれが担う21世紀がはじまろうとしています。2000年の元旦を、それぞれの世紀に活躍した先人たちの魂がねむる太素塚で迎えませんか?

お神酒・甘酒の
無料サービスが
あります



新渡戸傳

新渡戸十次郎

植樹を行う十和田市、花巻市の関係者

**十和田・花巻新渡戸友好都市
締結10周年記念植樹**

三本木原開拓の祖・新渡戸傳と十次郎の出身地である岩手県花巻市と十和田市の新渡戸友好都市締結10周年を記念し、11月11日高森山馬事公苑内称徳館南側に記念植樹が行われました。



花巻市の木・こぶしを植樹

植樹されたのは花巻市の木・こぶし3本で、樹齢約10年、1.5mほどのもの。記念植樹には花巻商工会議所清水宏一専務をはじめ花巻市友好都市交流委員会メンバーなど23人が参加。十和田市からは交流委員会・稲本純一会長、千葉義弘助役、友好都市締結当時市長だった中村亨三氏、新渡戸記念館長が参加して植樹を行いました。

また、植樹の前には、花巻市友好都市交流委員会のメンバーが記念館を見学し、館長の案内で二市友好の「きずな」となった三本木原開拓の歴史をしのびました。

辛夷・こぶし

絵は「広辞苑」より転載

日本原産。握り拳のようなつぼみをつけ、葉の出る前に咲く。花は白木蓮より小さく樹皮からこぶし油をとる。
花ことば：友情

♥ 4年生の娘が稲造博士の事を社会で習ったので、八戸市から観光客しに來ました。真の国際人に2人がなってくれる事を、父も母も願っています。上九一色村寄贈の富士山に前回おどろきました。今回は「太平洋の橋になりたい」という言葉、素晴らしいなっていました。
(10年12月17日/八戸市T・MさんT・Hくんのお母さん)

めてその偉大さに感動しました
(11年春/大鰐町民さん)

◆ 札幌から來ました。中2です。5千円札の人の名前も知りませんでした。“新渡戸いな造さん”覚えときます!!
メリーさん
にあってみ
たかったで
す!



新渡戸稲造と萬里子夫人

(11年8月4日/北海道Hさん)

♣ こうじをしている人はいつもこんなおもいどうぐでとんねるをほっているなんてすごいです。その人たちのおかげでいまのぼくがあります。
(10年12月/十和田市の小学生さん)

館内感想ノートから
(平成10年12月~11年12月)
記念館だより第15号(平成10年12月号)より、來館者からよせられた感想の一部を紹介しています。



新渡戸 傳

◆ 私はこの人じゃないから、すごく勉強になりました。いなぞうさんはすごい人ですね。伝さんや十じろうさんもすごい!なんかすごくあたたかみのある人ですね。いなぞうさんって…。(11年2月28日/N・Yさん)

♥ 新渡戸氏の伝記について目にし、耳にしてあらた

♥ こどもの頃遊びに來たことありました。数十年たつと変わってますね。良い方向にです。今日の來館はとてもよかったです。新渡戸一族のこともよくわかりました。
(11年11月20日/八戸から來た一主婦さん)

♣ 今回の十和田市があるのも、すべて新渡戸氏をはじめ多くの人びとのがんばりがあったからこそだというのが身にしみて感じた。みんなもいつまでもそのことを忘れてはいけない。
(11年11月20日/アースカラーさん)

十和田市立新渡戸記念館の ホームページを開設！

<http://www.towada.or.jp/nitobe>

先月25日から十和田商工会議所のご好意により、当館ホームページを商工会議所サーバー内に開設いたしました。このページでは、記念館の歴史や三本木原開拓、新渡戸稲造博士の情報を提供するとともに、記念館の最新活動、関連情報などを見ることができます。

ページ内に「サイバーライブラリー」設置

ページ内には、資料室「サイバーライブラリー」を設置しました。記念館に関わる人物や用語などについて写真とともに解説した「新渡戸記念館サイバー歴史図鑑」や、最近出版されている三本木原開拓や新渡戸稲造に関する図書情報のページ、そして、新渡戸稲造の著書などに引用されている和歌727首（重複引用を含め893件）を収録した「新渡戸稲造関連和歌データベース」などをご利用頂けます。

こどもたちのためのページも近日開設！

こどもたちのためのページを現在作成中です。これまで小学生のお友達から寄せられた三本木原開拓や新渡戸稲造に関する素朴な疑問にお答えする「新渡戸記念館なぜなに質問室」などを設置する予定です。

ホームページの案内役
「ニトちゃん」



新収蔵資料紹介

新渡戸稲造直筆の書

稲造博士は和歌を深く愛し、折々に著書などに引用していますが、ユーモアに富む人物で、都都逸など洒落のきいた俗謡も好みました。著書「随想録」の中にも“咲いた桜になぜ駒繫ぐ駒が勇めば花が散る”の歌を引き、武士（もののふ）の精神を表現しています。また「新渡戸博士追悼集」の恵泉女学園長・河井道子氏による追悼文によると、稲造が農学博士の学位を得た時、皆が口々にお祝いを言うと、稲造はにっこり笑って「はかせはかせと何穿かす赤いズボンに破れ靴」と詠ったといひます。

関連ページの紹介

現在リンクページ工事中につき、主なリンクを紙面でご紹介します。

◆十和田市及び当館紹介のページ

十和田商工会議所ホームページ
<http://www.towada.or.jp>

青森県地域情報サービスハローNETあおもり 十和田市紹介ページ
<http://hello.net.pref.aomori.jp/towada>

三本木原台地の開拓 新渡戸伝
(八戸市視聴覚センター・児童科学館のホームページ内)
<http://www.hens.city.hachinohe.aomori.jp/havc/nitb1.htm>

◆関連施設紹介のページ

花巻新渡戸記念館（花巻市ホームページ内）
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/main/nitobe.html>

盛岡先人記念館（盛岡商工会議所ホームページ内）
<http://www.ccimorioka.or.jp/rekishu/gaido06.html>

新渡戸メモリアル・ガーデン(カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学ホームページ内)
<http://www.hedgerows.com/UBCBotGdn/Gardens/Nitobe2.htm>

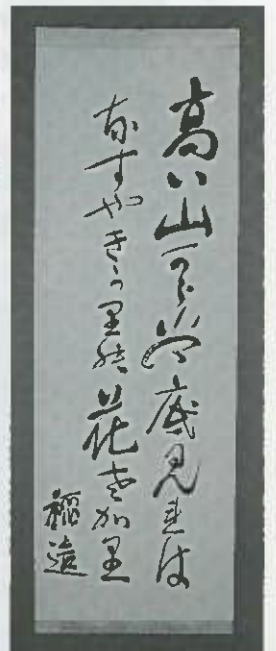
◆関連データベースのページ

北海道大学所蔵新渡戸稲造蔵書目録
(北海道大学ホームページ内)
<http://prelude.let.hokudai.ac.jp/nitobe/home.htm>

開拓に関する昭和初期の古写真データベース：三本木原開拓博物館
(相坂川左岸農業水利事業所ホームページ内)
<http://www.jomon.ne.jp/~aisaka02/A/sanbongikaitaku.html>

ホームページに対するご希望ご感想、リンク情報等は下記アドレスまでご連絡下さい。
s.mieko@mua.biglobe.ne.jp

高い山から谷底見れば
なすやきうりの花ざかり 稲造
(縦：一〇六・八cm 横：三七・八cm)



関連情報

●10月1日～11月30日の来館小学校

(十和田市)北園小学校/下切田小学校(八戸市)足川小学校/旭ヶ丘小学校/多賀台小学校/白銀南小学校/町畑小学校/豊崎小学校/新井田小学校/美保野小学校(五戸町)南小学校(六戸町)開知小学校(上北町)第一小学校/小川原小学校(東北町)蛭沢小学校(六ヶ所村)千歳平小学校(名川町)名久井小学校(階上町)道仏小学校(南郷村)烏守小学校

●モラロジー研究所理事長・廣池学園学長の廣池幹堂氏一行来館

10月25日モラロジー研究所理事長であり、廣池学園学長を務める廣池幹堂氏が来館しました。同研究所並びに学園は、新渡戸稲造と親交のあった道德教育家・廣池千九郎氏の教育理念を受け継いだ教育機関です。幹堂氏は館内を見学するとともに、稲造旧蔵書・千九郎氏著書「東洋法制史本論」



「東洋法制史序論」など二人の親交をしのぶ資料をご覧になりました。

◀廣池理事長(左から3人目)一行との記念撮影

●10月～12月の国際交流団体の来館

10/13 JICA アフリカ水資源管理研修生9名・10/19 ロータリークラブGSE アメリカ・カナダ研修生6名・10/24 十和田国際交流協会主催・十和田市探索ツアー20名・10/31 六戸町折茂地区ドイツのホームステイ中学生一行34名

●十和田国際交流協会で当館パンフレットを英訳

現在十和田国際交流協会(会長・稲本純一氏)英訳ボランティアスタッフの方々に、当館パンフレット2種の英訳をお願いしています。当館は、外国人観光客のサービスカード「あおもりウェルカムカード」の使用指定施設になっており、外国人来館者へのサービス充実に努めていきたいと考えています。(各種施設の利用料金割引、無料などのサービスを受けられるウェルカムカードについて詳しく知りたい方は、あおもりウェルカムカード運営事務局 TEL 0177-22-1111まで。)

〈編集後記〉

今年も残す所僅かとなりました。あれもしなければ、これもしなければと思っていても、なかなかその通りにはならないものです。たとえ牛の歩みでも着々と内容を充実していきたいと思っています。どうぞ皆様良いお年をお迎え下さい。

●千葉氏顕彰会が機関誌「千葉の燈」発刊

千葉県の子葉氏顕彰会(会長・千葉滋胤氏)では、この度機関誌「千葉の燈」を創刊しました。この機関誌では特に中世の子葉氏に関する最新の研究成果などを発表しており、千葉氏をルーツに持つ新渡戸一族として、新渡戸館長が寄稿しています。



●稲造杯弁論大会

太素顕彰会が後援する十和田青年会議所主催の新渡戸稲造杯弁論大会が去る10月2日十和田市文化センターで開催されました。今年は18名の小中学生が参加し、「新渡戸稲造賞」は十和田市立南小学校5年生・青木貴志くん、十和田中学校2年生・藤澤諒くんが受賞しました。

●9月～11月の清掃奉仕

9/22 大学通り老成会・9/26 商工会議所婦人部・11/7 本瀬戸山老成会・11/23 十和田稲生ライオンズクラブ 皆さんありがとうございました。

活動報告

●館長を講師とする講演会

10/8 あすなる尚学院専門課程・下北地区(当館)
10/22 あすなる尚学院五所川原校(五所川原市中央公民館)
10/28 県・市出納事務協議会秋季総会(十和田富士屋ホテル)
11/2 あすなる尚学院八戸校(八戸市立中央公民館)

●日本博物館協会全国大会に館長出席

11月15日～16日に福岡市で開催された第47回全国博物館大会に館長が出席しました。大会は中曽根文部大臣出席のもと「多様な要請に応え得る魅力ある展示づくりを求めて」をテーマに論議が行われました。



◀挨拶する中曽根文部大臣

●新渡戸記念館ホームページを開設(詳細3面へ)

発行 太素顕彰会
十和田市立新渡戸記念館
〒034-0031 青森県十和田市東三番町24-1
TEL (FAX) 0176-23-4430
印刷 有限会社 岩間印刷所